

DPD法ダイヤル式 pH・残留塩素比色測定器取扱説明書

本器は水のpH及び遊離残留塩素を比色法により測定する簡易比色測定器です。

◆用途

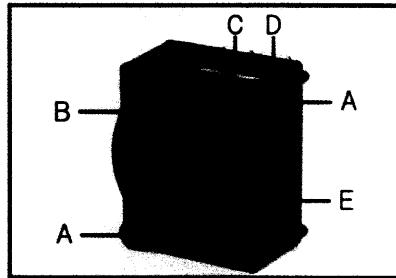
プール、水道水、井戸水、給水槽、公衆浴場、浄化槽、工業用水、その他

◆内容

測定項目	使用試薬	測定範囲													
遊離残留塩素 (PPM)	DPD試薬液	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.5	2.0					
水素イオン濃度 (pH)	BTB指示薬液	6.0	6.2	6.4	6.6	6.8	7.0	7.2	7.4	7.6					

◆部品

測定器	1
比色板・DPD遊離塩素用	1
比色用セル (pH・塩素共用)	2
DPD試薬液 5ml (約100回分)	1
○BTB指示薬液 20ml (約40回分)	1
○比色板・pH測定用	1
レザーケース	1



注 遊離残留塩素測定器のみの場合○印はふくまれません。

◆測定方法

- 前面のプリズム取付板ネジ (A) を外して開き、比色板 (B) を取り付けます。
- 外側の比色セル (D) に、検水のみを入れます。
- 【残留塩素】内側の比色セル (C) にDPD試薬液を2滴 (0.05ml) 滴下し、検水を10mlの標線まで加え軽く振り混ぜ発色させる。(Cl板使用)
- 【pH】内側の比色セル (C) に検水を10mlの標線まで加えBTB指示薬を0.5ml滴下し軽く振り混ぜ発色させる。(BTB板使用)
- 明るい方に向かって直ちに検眼部 (E) よりぞき、左右の色調が一致するまで、比色板を回転させます。
- 最も近い色調になった時、左上部 (B) に現れた数字が測定値です。

◆使用水質範囲 (塩素)

- ・pH：6～8 (4以下及び8.6以上では発色が低下します)
- ・温度：45℃以下

◆保証期限

製造後10ヶ月 (未開封)

◆保管場所

直射日光の当たらない、約25℃以下で湿度の低い場所

◆注意事項

- 本器はpH・遊離残留塩素を測定する器具です。残留塩素を測定する場合はDPD試薬で測定した液に更によう化カリウム約0.5gを加え2分間静置後の呈色を求めて下さい。
 - ・遊離残留塩素：塩素剤が水に溶けて生成する次亜塩素酸
 - ・結合残留塩素：次亜塩素酸がアンモニアと結合して生じるクロロアミン
 - ・残留塩素：遊離残留塩素と結合残留塩素の和
- 標準比色板は直射日光や高温にさらす事は絶対に避けてください。
- 点眼ピンの滴下口の汚染には充分注意し、使用後は必ずキャップを締めて下さい。
- 測定中、発色が極端に暗くなりましたらDPD試薬液の劣化が考えられますので新しいものと交換してください。
- 乳幼児の手の届かない場所に置いて下さい。
- 必要に応じMSDSを参照下さい。

製造元 **協和純薬工業株式会社**

本社 〒115-0051 東京都北区浮間4-16-28
TEL 03-3968-7441 FAX 03-3969-0049